



港議会 社側が敗訴

一年の法廷斗争に仙台高裁の断

退職金は支拂うべし

支拂を請求した處

会社側は二十六年

に結ばれた労働協

約を無視して二十

年の会社側退職

規定を算出基準に

示めしたため組合

側の要求四十七万七千餘圓

に對しその半額にも満

て三十数萬圓を算出

組合側は会社側の不當を

指摘され各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

万四千九百二円を支払

う事

小名浜港運送会社(社

長内丸猛氏)の從業員全

員退職、職退請求の所謂

港賃争議は法廷斗争で

持込まれ各勢組の注目を

集めていたが、去る六月十

四日仙台高等裁判所で

板垣市太郎裁判長係り

で次の様な判決言渡しが

行われ第一審敗訴を控

訴した会社側西丸猛氏の

敗訴となつた

判決主文

一、鈴木五郎氏他十二

名分退職金要求額四七

(2) 第三種便物認可
運省特別承認拔第684号
常磐市湯本公民館青年学級運営委員會は、十七日午後七時から湯本公民館に於て開き、青年學級の本年度學習計画並びに入級式の準備などについて話し合ふ。司事は、常磐市長の佐藤義一郎。

には萬全を期して夏枯れを一氣に吹き飛ばそうと息込み、既にボスターの作製も出来上り、十六日水戸鉄道管理局に各駅列車内のポスター掲示を申請すると云う早手廻わしである。出来上つたボスターは紺碧

青年学級運營委員決る

には萬全を期して夏枯れを一氣に吹き飛ばそうと息込み、既にボスターの作製も出来上り、十六日水戸鉄道管理局に各駅列車内のポスター掲示を申請すると云う早手廻わしである。出来上つたボスターは紺碧

内進 江尻郷
保木重雄 高島
精門、泉開長
志賀久馬、高島
好評

既報＝磐城市選舉管理委員會（委員長小浜長太郎氏）は十六日午後二時から市役所會議室で開き、去る五月二十四日磐城市竹町七五齊藤司・同市古港大和田牛音兩氏名儀で提出された五月十日執行の磐城市長選舉一郎無効申立の審議を行つた。斎藤、大和田両氏は去る五月七日小浜浜地區署の手によつて明るみに出され、上手に合唱し、終業時間中に終業時間

七ツ道具持參の自殺志願者
五時十二分平上り二一二列
七ツ道具の切られが縁の切れ

七ツ道具持參の自殺志願者
月始めごろ社用と稱して仲よく家出、東北地方の温湯場を轉々として歩き、フトコロが淋しくなつてか二人は仲よく心中を企ており、懷中には削刃、刀子（二六）、二丁、輪綱、ネコイラズなどの自殺道具を所持し、市宮町同社事町別子建設Kの愛媛縣新山義貞（四六）を平駅鉄道公司の二

論は結局開票當時と
なきものと觀測され
から兩氏の申立を却
るものと見られてい
るが、
この不景
千円札が
いたと云
に舞い飛
なし
十五日午
時頃常磐
バス箱田
所の植田發田人行
鶴手佐藤喜一氏は田
井口澤地内をバス運
風に舞い飛んでいる
札三枚を発見、バス
めて車掌の横山ミチ
んに拾わせ、植田地
に届け出たものであ
風に飛ばす程アル所
アルものだと受け付
けられ、シタリ顔
巡りさんもシタリ顔

いわき七浜を一手に

磐城港まつりは市制祝賀も

夏の觀光目前に

14

17

録音し、二十日（日曜日）午前五時半からの「里

ヨークハバチンコ店前路
上で、同市水野谷畠夫青

年記
莊
算で御
商談に
团体宴
中で
浴で
宿泊は
て女子

梅雨の切れ間にも夏の香り

山と海のマ
ルクスの奇勝には
港外と泳ぐ

シトラスを誇
中之作、江名
によし、遊ぶ
庄平、常磐交渉小名浜
營業所長、浦田文二郎
木幡直、小野一、吉田

及川正技、酒井直恵、
伊藤國番（以上江名）
▽会計理事＝永山六郎（

た体験からじみ出た放送として期待されている（写真は吉田勝記氏）

立本
菊を愛すか
丹に狂うか
血の嵐騒ぐ男の街
山根壽子 雪千草 恵子 皮島
田舎
日一館

時 隨 院 入 婦 人 科 白 鳥 醫 院 小名浜臨港前

常前署在面青路一半天職
開店五周年記念
萬里莊 で電話二七五
も皆様の……御豫算で御満足出来る
家族連に…御商談に…
團体宴会等に…
泊は朝風呂付日中でも…
隨時入浴できます…
額は100円ヨリ宿泊は270円ヨリ
足できる家族待遇に女子店員も